

# 令和2年 **7月の住まいのきになる**通信

## 目次

- (1)  住民3割、石綿吸引か 旧工場付近 調査で所見 環境省
- (2)  サブリース 初の法規制 不当な勧誘禁止
- (3)  マンション発売戸数82%減 首都圏新築5月 営業自粛響く
- (4)  マンション発売85%減 近畿5月 タワマン、延期相次ぐ
- (5)  高まる住宅ローン不安 29歳以下、10年で残高2.5倍

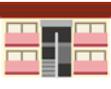
## 住宅診断 - ホームインスペクション 戸建て住宅調査項目 室内の状態 床

- (1)  住民3割、石綿吸引か 旧工場付近

### 調査で所見 環境省

\*環境省が2015年度に始めた調査で、2019年度までの5年間で3割を超える住民に石綿を吸引したとみられる所見。9都府県の27自治体を調査。

(2020年6月2日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

- (2)  サブリース 初の法規制 不当な勧誘禁止

\*アパートなどの賃貸住宅を借り上げてまた貸しするサブリースに初の法規制。

\*不当な勧誘の禁止や重要事項の書面での説明義務を事業者に課します。

\*年内に規制が始まります。

\*約束された賃料が事業者を支払われないなどのトラブルを未然に防ぎます。

(2020年6月13日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

- (3)  マンション発売戸数82%減 首都圏新築5月  
営業自粛響く

\*首都圏の新築マンションの発売戸数は、前年同月比82.2%減の393戸。過去最少を更新。

\*発売戸数の前年割れは9か月連続。

\*緊急事態宣言の解除を受け、6月以降は販売物件の内見は急増。

(2020年6月19日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

(4)  マンション発売 85%減 近畿 5月

タワマン、延期相次ぐ

\*5月の近畿2府4県のマンション発売戸数は、前年同月比85%減の214戸。

\*発売戸数は1976年の調査開始以来最低。

\*契約率は50.0%。

\*5月の近畿圏中古マンションの成約は764件で、前年同月比33%減少。減少は6か月連続。

\*大阪市内ではタワマンの販売を延期する動きが相次いでいます。

(2020年6月19日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



(5)  高まる住宅ローン不安

29歳以下、10年で残高2.5倍

コロナ禍で大幅収入減響く

\*住宅ローンの2019年度残高は約215兆円と9年連続で増え、過去10年間で29兆円も拡大。

・過去10年間で世帯主が29歳以下は約2.5倍、30~39歳で約1.9倍に。

(2020年6月30日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)





## 住宅診断 - ホームインスペクション 戸建て住宅調査項目

### 室内の状態 床

確認部位	詳細部位	該当	調査項目		なし	あり		
			仕様	状態				
床	仕上げ材 表面		フローリ ング等	著しい割れ				
				剥がれ				
				その他：				
			タイル・ 石			ひび割れ		
						著しい欠陥		
						剥がれ		
						その他：		
			カーペッ ト			著しいめくれ		
						腐食		
						その他：		
			畳			腐食・かび		
						その他：		
		その他						
	歩行時の変化				著しい沈み			
					著しい床鳴り・きし み			
					その他：			
著しい傾斜								
その他								

(NPO法人日本インスペクターズ協会 ホームインスペクター資格試験テキストより抜粋引用)

